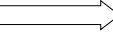




子どもの成長を見ていこう！



発達期	新生児期	2ヵ月	4ヵ月	7ヵ月	10ヵ月	1歳	1歳半	2歳	2歳半	3歳	4～6歳
主な特徴	外界に適応するために、各機能を調節する時期。	一生のうちで最も成長する時期。機嫌の善し悪しが表情にだせる。	首がすわる。夜と昼の区別がついて昼間いろんな刺激をうける。	短い期間の記憶ができる。（夜泣き）	探す、みつめる、探究心旺盛。	立って歩く。	全身を使って遊ぶ。様々な感情表現がでてくる。	反抗期が始まる。自我が発達する。		自分の意志で行動したい時期。	友達と遊ぶのが楽しい時期。集団のルールを教える。
体をつくる	身長	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm
	体重	g	g	g	g	g	kg	kg	kg	kg	kg
栄養	母乳・ミルク										
体を守る	免疫	赤ちゃんは抗体を作る力が弱い。	BCG …母から免疫をもらえない。百日ぜき 破傷風 …母からもらった免疫は3ヵ月ぐらいで消失。麻疹（はしか） …母からもらった免疫は12ヵ月までにほとんど消失。								
	排泄	ぼうこうに尿がたまると反射的にでる。	※早寝早起きの生活リズムで過ごすことで深い睡眠になり、夜尿をつくらない。ホルモン（抗利尿ホルモン）がでて夜の尿量が減少してくる。								

発達の過程

人や社会とのかわり		あやすと笑う（ヵ月）		人見知りをする（ヵ月）		指さし行動ができる（歳ヵ月）		自分の名前が書ける（歳ヵ月）		自分の意思を通そうとする段階を経て、泣かずに自分の欲求処理をすることができるようになる。そして、徐々に周りの状況を理解・判断して自分の行動を決定していくことができる。
ことばの発達		あやして笑う（ヵ月）	声の方に振り向く（ヵ月）							まず聴く脳が発達する。そして、言葉を理解する脳、発音する脳と順々に発達して話ができるようになる。
手や指先の運動		遊びができる（ヵ月）	物に手を伸ばす（ヵ月）							五感の体験を通して脳が発達すると共に周りの物に興味を示し、徐々に指の複雑な動きができるようになる。指の動きの発達で道具を自由に使えるようになる。
全身の大きな運動										自分の体が思い通り動くには脳（上）から下へ発達する法則がある。つまり、筋肉は首から脚への順序で発達する。体を動かす脳、姿勢を保つ脳、運動の組み立てをする脳、バランスを取る脳が発達して一人で歩けるようになっていく。
備考 (気づいたことを記入してください)	<新生児訪問> <1ヵ月健診>	<こんにちは赤ちゃん事業>	<股関節健診> <離乳食教室>							<3歳児健診>